

教科	家庭	科目	生活教養	年次	3～4	単位数	2
使用教科書 (副教材など)		最新版 楽しく学べるマナーの基本 (教育図書)					

学習目標	生活にかかわる見方・考え方を働かせ、生活を振り返りながら、体験的・実践的な学習活動を通して、生活者として生活文化の継承と創造に必要な資質・能力を育成することを目指します。 (1) 家庭生活や地域活動を充実向上させるため、生活文化やマナーを理解するとともに、関連する技術を身に付けます。 (2) 生活習慣や地域の慣習について考え、課題を見出し合理的に創造的に解決する力を養います。 (3) 生活の充実を目指して自ら学び、生活者として主体的に協働的に取り組む態度を養います。	
評価の観点	① 知識・技術	家庭生活や地域活動を充実向上させるための生活文化とマナーについて理解し、家庭生活や地域活動を豊かにする技術を身に付けている。
	② 思考・判断・表現	生活習慣を見直し地域活動の中で課題を発見し、生活者として生活文化の継承と創造について思考・判断し、合理的に創造的に課題を解決する力を身に付けている。
	③ 主体的に学習に取り組む態度	生活の充実向上のために自ら学び、生活文化の継承と創造を目指して主体的に協働的に取り組もうとしている。
評価の方法	定期考査に加え、提出物（製作品、学習プリント等）、小テストの成績などで総合的に評価します。また、平常の取組についても評価の対象とします。授業態度や参加姿勢に加え、思考力・判断力・表現力を総合的に評価します。	

	単元	学 習 内 容
前期	1 好感度アップのポイント	・家庭や学校、地域など、私たちの生活に関わりあう人々と良好な関係を保ち、互いに気持ちよく生活するための心構えを身に付けます。 ・体験的な学習を通して、端正な身だしなみ、場にふさわしい立ち居振る舞いを習得します。 ・敬語の使い方について理解を深め、場に応じた敬語表現の習得を目指します。
	2 公共の場でのマナー・訪問のマナーと招く側の心構え	・公共交通機関や公共施設でのマナーについて学習します。 ・訪問のマナーを学び、招く側の心構えについて考えます。 ・上座と下座の意味を知り、席次のルールを理解します。 ・もてなしの茶菓の組み合わせを知り、和菓子和茶という日本文化への関心を高めましょう。
	3 食事のマナー	・箸の持ち方、取り方、置き方を体験的に習得し、箸使いについて学びます。 ・和食文化の特徴を理解し、会食のマナーを理解します。 ・体験的な学習を通して、フランス料理の食器やカトラリーの扱い方、中国料理の円卓での料理の取り方などについて理解を深め、和食のマナーとの違いを理解します。
	4 書簡のマナー	・正式な書簡用の便箋や筆記具の選び方、はがきと手紙の使い分け、表書きについて理解します。 ・書簡の頭語と結語の組み合わせを理解し、時候の挨拶について理解を深め、手紙やはがきの書き方を習得します。 ・招待状返信はがきの書き方、メールでの連絡、国際郵便の表書きと出し方など、学習を発展させましょう。
後期	5 人生の慶事と弔事	・ライフイベントの中の慶事と弔事について学び、節目の祝いや長寿の祝いについて理解します。 ・祝儀袋・不祝儀袋の種類と表書きを習得し、ふくさの扱い方を体験的に学習します。 ・お中元・お歳暮・慶事の祝の品など、贈り物のマナーについて考えを深めましょう。
	6 社会人としてのマナー	・就職活動や職場に必要なマナーを体験的に身に付け、アルバイト先での実践を目指しましょう。 ・ビジネス敬語を習得し、場面にふさわしいお辞儀の使い分けを体験的に学びます。 ・体験的な学習を通して、名刺交換のマナーや、電話対応のマナー、文書やメールの構成を理解します。
	7 日本の年中行事	・代表的な年中行事における生活文化について学習します。 ・関心をもった年中行事についてより詳しく調べて理解を深め、生活に反映させましょう。
	8 国際人としてのマナー	・様々な人がそれぞれの文化的背景や社会的慣習・個の習慣のもとに生活していることを理解しましょう。 ・多様な人々とコミュニケーションをとるため、自分を理解した上で相手の考えを尊重する必要があることを理解します。 ・食事のタブーや 外国文化でのNGのしぐさについて学習します。 ・簡単な外国語の挨拶や自己紹介の言葉を習得し、豊かな交流ができるようにしましょう。